

第9回 SSC OTからの情報発信！

～一人一人違う「感覚」を知ろう！②～

みなさんこんにちは！

作業療法士(OT)の駒木です。子どもの感覚の特性に応じた支援グッズをご紹介します。

★ 大きな音が苦手な 子どもへの支援グッズ

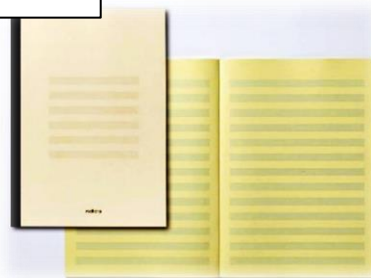
イヤーマフ



耳を覆うことで、適度に遮音することができます。大きな音等、苦手な音が発生する場面で着用することで、音が軽減され、落ち着けることが期待できます。

★ 白いノートが眩しいと感じる 子どもへの支援グッズ

カラーノート



白紙に比べ、光の反射を抑えられる紙でできたノートです。罫線にも、書きやすくするための工夫がされています。白いノートを眩しく感じる子どもが使用することで、ノートテイク等がしやすくなることが期待できます。

★ 鉛筆を噛む子どもへの 支援グッズ

噛む鉛筆キャップ



鉛筆の先に取り付けられるキャップです。鉛筆の端を噛んでしまう子どもの鉛筆に装着し、鉛筆の代わりにキャップを噛むようにすることで、鉛筆や歯を保護することができます。ほどよい噛み応えがあり、口腔への刺激欲求を満たすことができます。

★ 椅子をがたがた揺らす 子どもへの支援グッズ

バランスボール



トランポリン



休み時間中などにバランスボールやトランポリンで跳ねることで、「椅子を揺らしたい」という感覚欲求を満たすことができます。椅子をがたがたと揺らしてしまう子どもが使用することで、授業中落ち着いて着席し続けることが期待できます。頻繁に離席してしまう子どもにも、有効な場合があります。

ご紹介できなかった感覚特性に対しても、様々な支援グッズがあります。それぞれのお子さんの感覚特性に合った支援グッズを選択しましょう。